十時半睡事件帖　おんな船　白石一郎

＜福岡・博多＞

荒戸町

須崎町

川端町

筥崎

那珂川

能古島

久留米

柳川

＜江戸＞

赤坂田町

表伝馬町

花川戸

葺屋町

亀沢町

北割下水

海辺大工町

材木町

今川町

佐賀町

蛤町

冬木町

相川町

黒江町

山本町

洲崎

行徳

十時半睡（一右衛門　江戸総目付）―織江（亡き妻）

弥七郎（息子　御蔵奉行）―お夏（妻）、吉太郎（息子）

儀八（若党）、伍助（若党）、左市（下男）

江戸：お仙（女中）、吉蔵（お仙の伯父　船頭）

片山太右衛門（お夏の父）、彦馬（長男）

村上忠左衛門（安部流道場主）、中村勘平（師範代）、勘太夫（兄）

松原藤十郎（目付）、寺田勘左衛門（目付）、岸仁兵衛（目付）

黒田主膳治之（藩主）

栄昌院（江戸一橋家 藩主の生母）

黒田喜三郎（御側御用人）、神坂織部（御側御用人）

黒田三左衛門（大老 筆頭家老）

野村外記（家老）、月成三郎太夫（中老）、立花平左衛門（中老）

黒田吉右衛門（江戸首席家老）

二宮三太夫（江戸目付）、明石角兵衛（江戸目付）

宝仙院（修験者）＝般若坊

上田彦兵衛（江戸御蔵奉行）

益田金兵衛（上船頭）、細井主水（中船頭）、百合（娘）

田宮新九郎（御船手組小船頭）、伊佐七（船頭）、甚兵衛

高木常太郎（無足組御徒士）

鬼の辰兵衛＝彦兵衛、小鬼の辰吉＝彦蔵（息子）、鬼娘のお辰＝お絹（娘）

梅吉（船大工）

お波（小料理牡丹 女将）、為吉（前夫の息子　骨董屋 古仙堂）、常吉（板前）

吉次郎（砂糖問屋次男）

お町（蝋燭問屋の娘）―高岡兵馬（御馬廻組）

留吉―おたか（女房）、おまち（娘）

おしま（花川戸小間物屋の娘）、およね（根岸百姓の娘）

おとら（根岸百姓の娘）、おきさ

時枝頼母（御家人）

鈴木甚太夫（元江戸留守居役）―お蓮（妻）、甚平（息子）

甚三郎（甚太夫の弟）、巳之吉（お蓮の弟）